

「健康長寿達成を支える老年医学推進5か年計画」に基づく取り組み

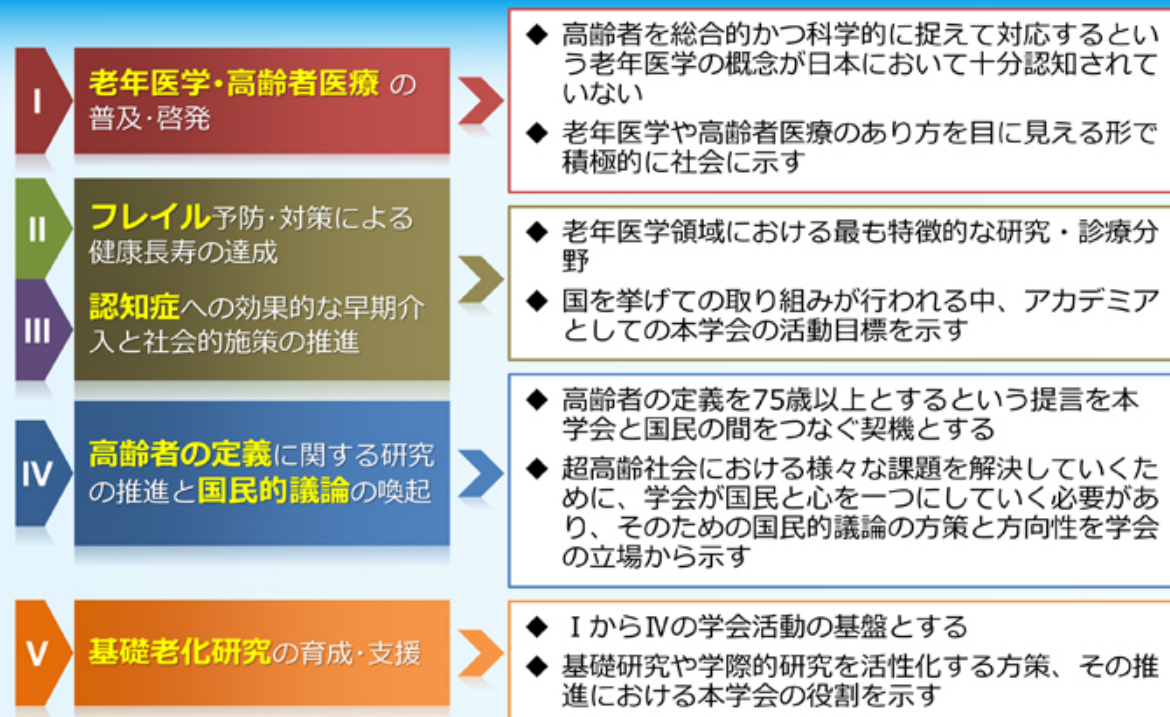
老年医学会の活動指針として2018年に「健康長寿達成を支える老年医学推進5か年計画」を策定。認知症は重点的に取り組む3番目の柱「認知症への効果的な早期介入と社会的施策の推進」として取り上げられた。

2021年には自己評価を実施。認知症の取り組みについては順調な進捗とした。

2023年から新たな5か年計画を作成中。

日本老年医学会

「健康長寿達成を支える老年医学推進5か年計画」



III. 認知症への効果的な早期介入と社会的施策の推進

1) 認知症予防に関する取り組みへの貢献

国立長寿医療研究センターによる多因子介入研究 J-MINT

2) 認知症に対する社会全体の理解を深め、認知症の人や家族の社会参加への貢献

あいちオレンジタウン、認知症未来社会創造センター、秋田大学高齢者医療先端研究センター等

3) ICT・IoT・ロボット技術・AIなどを用いた認知症支援の研究推進

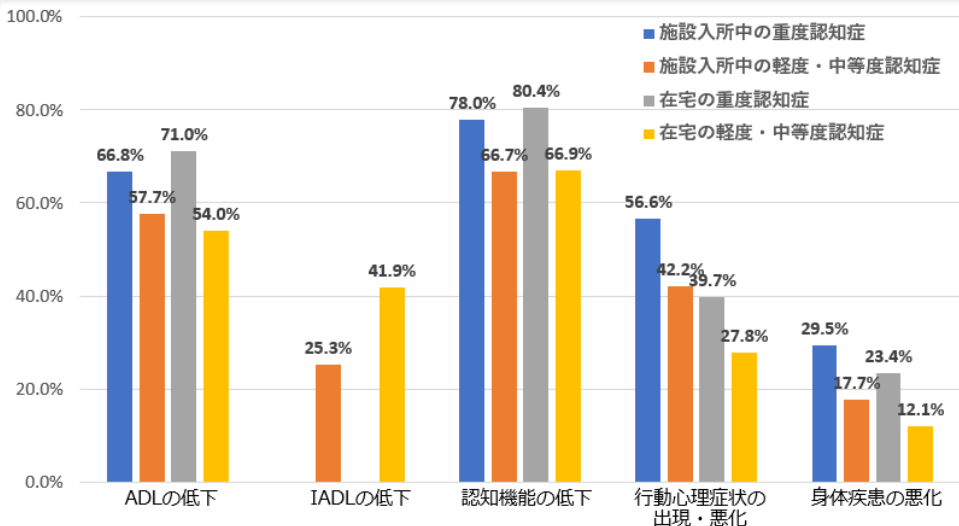
AIを用いた顔写真からの認知症判定など

2023年度の取り組み紹介

「新型コロナウイルス感染症による 高齢者医療・介護への影響調査」 報告書公表

老年医学会では多くの関係団体の協力を頂き、広島大学と共同でコロナ禍における認知症の人への影響を評価する実態調査を継続的にこれまで3度にわたり実施してきました。その報告書を老年医学会ホームページ上で公開しました。

日常生活の変化や活動制限によって認知症の人の状態に精神面、身体面を含めた多岐にわたる悪影響が生じていた。



共生社会の実現に向けた認知症施策 推進議員連盟 認知症基本法案骨子 案への意見具申

議員連盟でまとめられた認知症基本法案の骨子案に対して、認知症に関連する様々な団体に意見具申の機会が与えられました。老年医学会からも具体的な内容を含めた多くの意見を提出しました。

共生社会の実現に向けた認知症施策推進議員連盟
第12回総会

令和5年3月30日
一般社団法人 日本老年医学会

(意見具申の概要) 認知症基本法案(仮称)骨子案について ～互いが支え合う共生社会の実現を目指して～

学会の基本的な立場

- 認知症に対する取組推進のため、法案成立は重要である
- 法案を通して、認知症の人の人権が守られる社会実現に向けて取組をさらに進めていく

意見具申のポイント

【認知症の人の人権を尊重する】

- 差別解消を理念として含める
 - 保健医療・福祉サービス提供者に認知症の人に対する必要かつ合理的な配慮を求める
- 当事者参画を理念として含める
 - 保健医療・福祉サービス提供にあたり当事者や家族等の意向を尊重
 - 研究の推進、成果の還元にあたり当事者や家族等の意向を尊重
- 自立の程度にかかわらず全ての認知症の人の権利を保障するため、表現に配慮を

【病初期から進行期まで切れ目のない本人中心の医療・ケアの推進】

- 早期発見の取り組みには十分な治療・ケアを提供する体制整備が伴う事を求める

【研究開発の推進】

- 身体疾患や生活の質まで含めた包括的・全人的な介入を目指した研究の推進
- 希望する者が施策の対象に含まれるよう、軽度認知障害の定義について慎重な検討を行う

【多種多様なステークホルダーの連携】

- 医療・介護、地域資源や行政の連携推進
- 認知症施策推進関係者会議には多様な立場を代表する者を含める